

かんきょう観察会報告 153 号

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時 2022 年 12 月 3 日（土） 午前 10 時～午後 1 時

観察地域 赤塚公園番場地区～沖山地区 昼食忘年会

参加者 浅原、梅田、柏原、神山、川口、小林、塩田、荘司、長澤、宮崎、山田、米澤、渡邊
（計 13 名） 佐藤、山下（昼食忘年会 15 名）

当日の天気 曇りのち晴れ

観察結果

アゲハチョウ科

①ジャコウアゲハ（蛹）

タテハチョウ科

①キタテハ

シジミチョウ科

①ウラギンシジミ

②ウラナミシジミ

③ヤマトシジミ

観察概要：

午前 10 時過ぎに赤塚公園番場地区で冬に生息している蝶を探し始めました。天気は曇りで気温は 10℃ほどでした。番場地区ではマテバシイの木がたくさん繁っており、今年も 7 月頃から 11 月頃までムラサキツバメの生息が確認されています。昨年も、ムラサキツバメがマテバシイの葉で集団越冬しているのを確認しています。昨年と同じ朝陽の当たる、高さ 2m 程のマテバシイの葉を確認しましたが、今年は集団の越冬が見られませんでした。しかし、その直ぐそばでウラギンシジミが越冬しているのを見つけました。

この近くには、ジャコウアゲハの生息場所があり、蛹を探したところ、周辺のフェンスに蛹が何頭かついているのが確認できました。来年、成虫を見られそうで安心しました。今年は食草であるウマノズクサがまだ茎を伸ばしています。例年では、10 月中旬頃には葉や茎は無くなっていたのですが、天候の不順があるのでしょうか？

ここから、沖山地区に移動することにしました。

昨年は、シュロの葉の所で集団越冬を確認しましたが、昨年集団越冬していたシュロの葉の周辺ではムラサキツバメは確認できませんでした。そこで、棒でシュロの葉を叩いてみましたが、ムラサキツバメは飛びませんでした。そこで、周辺で越冬しやすいといわれている、シュロ・マテバシイ・アオキの葉を全員で探しましたが、見つけることはできませんでした。今年はずっと別の場所で越冬することにしたのか、又はムラサキツバメの数が少ないのかは分かりません。

他の蝶を見つけようということになり、周辺の観察を始めました。すると、ヤマトシジミがユズの木にしがみついているところを見ました。まだ、寒くて動けないようです。

しばらく観察しましたが、まだ曇っていて気温も低いようなので植物観察をしながら沖山地区を一週することにしました。青や赤い実が付いている草や木があります。ヒヨドリジョウゴの赤い実・ムラサキシキブのムラサキの実・クサギの赤い実・トウネズミモチの黒い実などが見られました。

再度南斜面側に戻ってくると、やっと陽がさし、暖かくなってきました。ヤマトシジミとウラナミシジミが飛んでいるのを見つけました。また、沖山地区での観察を終了する時にキタテハが飛ん

できました。

12時半を過ぎ、昼食忘年会の会場へと向かい、この地区での観察は終了としました。

今日は、ムラサキツバメの越冬集団は観察できませんでしたが、5種の蝶（蛹を含む）を観察出来ました。

(2022年12月3日観察会写真)



ジャコウアゲハ（蛹）



キタテハ



ウラギンシジミ



ウラナミシジミ



ヤマトシジミ



アオマツムシの死骸



イチョウの絨毯



クスノキの実



クサギの実



コムラサキの実



ヒヨドリジョウゴの実